

# DL36M 組立部品セット 50Ωダミーロード DC~50MHz 36W MAX

DL36M 部品セット 50Ωダミーロード DC~50MHz 36W MAX

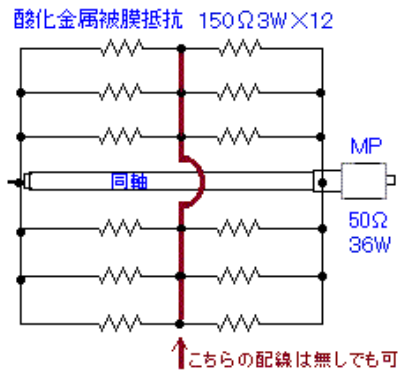
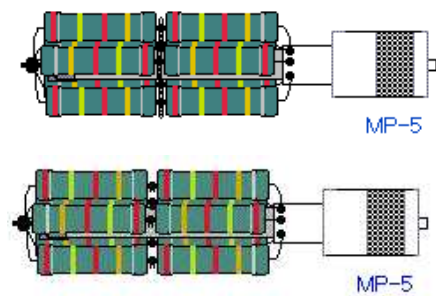
H Fから50MHz帯で使用できるDUMMYLOAD、50Ωを作ります

3W 150Ω 5% の酸化金属皮膜抵抗 12本を、直列、並列配線して、36Wのダミー抵抗とします

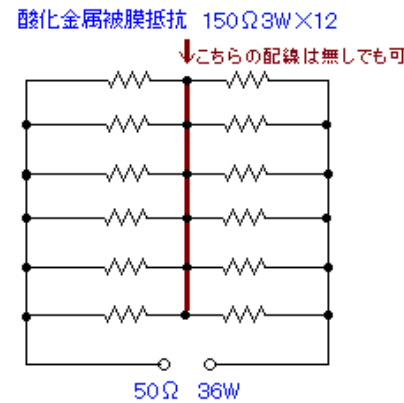
コネクタMP-5に、5D同軸を立ち上げて同軸ケーブルのまわりに、150Ω抵抗2本直列を6個作り、更に6個を並列配置してハンダ付けします

試作品では、DC~100MHzでVSWR 1.1 以内になりました、良好です

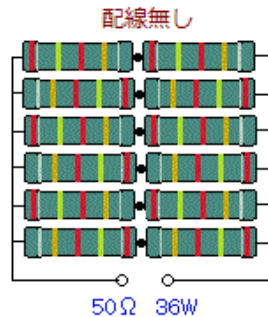
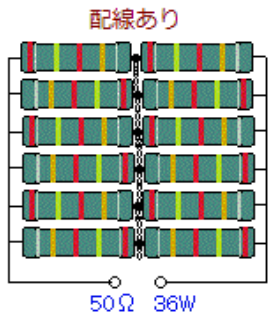
## DL36M 構成図



## 回路図



## 製作例



## VSWR 特性

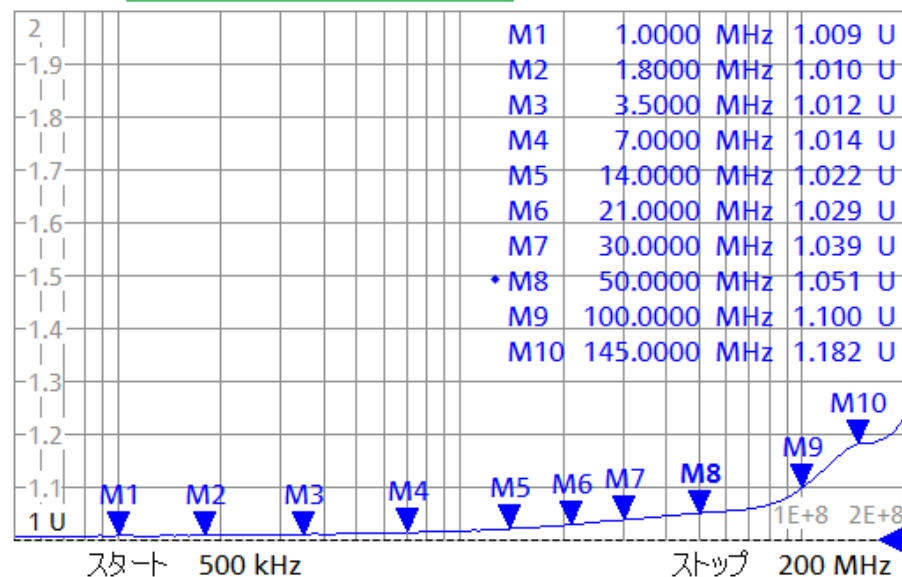
周波数 MHz	~30MHz	50MHz	100	145
VSWR	1.04 以下	1.05	1.1	1.2

## DL36M 部品表

酸化金属皮膜抵抗150Ω 3WJ × 12本
同軸コネクタ MP-5(Ni) × 1
同軸 ケーブル 5D-FV × 90mm
絶縁テープ 自己融着 FB-W 少々

## DL36M SWR 代表特性

DAISHIN RADIO INC.

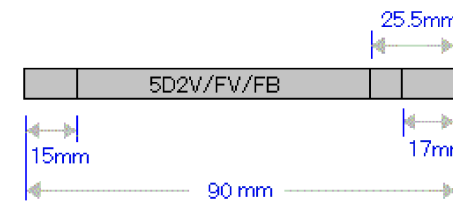


## DL36M 部品セット

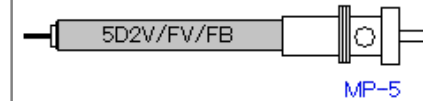


## DL36M の作り方

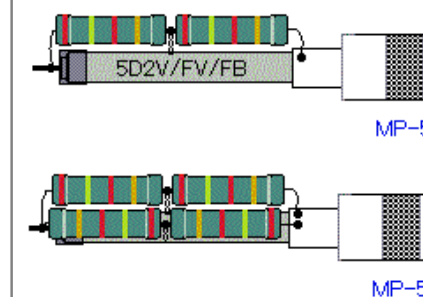
① 5D 同軸90mmの片側は、MP-5に取付け加工します



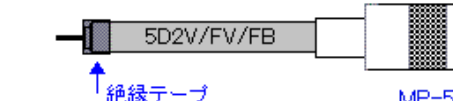
③ MP-5プラグを半田付けします



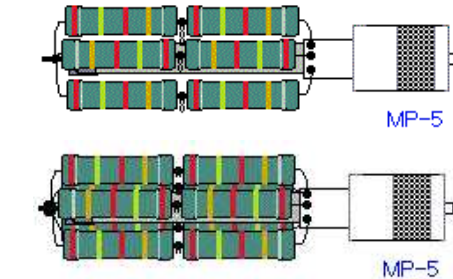
⑥ 6組の直列抵抗を同軸のまわりに配置します  
同軸の芯線とMP-5のボデーに半田付けします



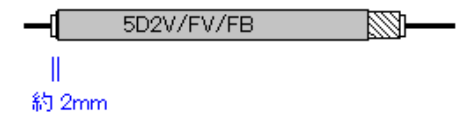
④ テープで網線を絶縁しておきます



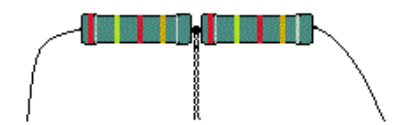
⑦ 6組の直列抵抗は、同軸の芯線とMP-5のボデーに半田付けします



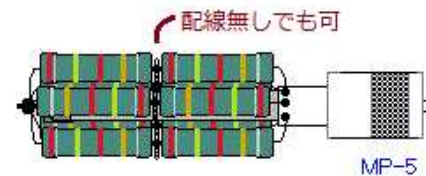
② もう片側は抵抗と接続加工をします  
芯線を 5~8mm 出しておきます



⑤ 2本の抵抗を直列に接続リード足をねじり合わせます 6組の直列抵抗を作ります



⑧ 6組の直列抵抗の配列2本直列接続してねじり合わせたリード足を接続半田付けします (配線無しでもokです)



## 組立後のチェック

半田付けが終わったら、テスタ抵抗計で、MP-5の中心コンタクトと外側ボデー間の抵抗値が50Ω (48~52Ω) になっていれば、完成です

## (注意)

半田付けは、かなり高温になります、ぬれ雑巾などを用意して、冷ましながら作業してください、やけどなどしないよう十分注意して下さい

(使用上の注意)

使用中はダミーロードが次第に温度上昇してきます

熱くならないよう細心の注意して下さい、

ダミーロード抵抗が温かくなったら、直ちに中断して、十分冷却してから、使用して下さい

株式会社 大進無線

〒410-0022静岡県 沼津市大岡 2223-14  
TEL 055-925-4961 FAX 055-925-4962

URL <https://www.ddd-daishin.co.jp/>

E-mail [info@ddd-daishin.co.jp](mailto:info@ddd-daishin.co.jp)